

令和3年3月17日

「旭川医科大学における不祥事」に対する学外同窓会員アンケート調査結果について

旭川医科大学医学科同窓会  
会長 原渕保明

旭川医科大学医学科同窓会（本会）では旭川医科大学の外（学外）に勤務する本会会員を対象に、旭川医科大学における一連の不祥事に対する意見聴取をアンケートの形で行いました。これは最近行われた「学内勤務者を対象とする署名活動」に参加できなかった本会会員の意見を集積し公開することで、本会に対する一般社会からの理解を深めることと、本会の今後の活動に反映させることを目的としています。

対象は正会員 4381 名、特別会員 271 名、計 4652 名のうち学外に勤務していて同窓会事務局にメールアドレスを登録している 1937 名で、メールアドレス宛にアンケート調査（計 9 個の質問）をメールで依頼し、同窓会事務局宛に回答を返送する方法をとりました。回答期間は令和 3 年 2 月 26 日～3 月 14 日としました。

その結果、386 名の会員から回答が得られました（回答率 19.9%）。その内訳は、1998 年以前に卒業した（卒後 22 年以上）会員が 295 名（76.4%）で、居住地は道内が 255 名（66.0%）、道外が 129 名（33.4%）でした。以下に、各問と回答内容の概要について示します。

【問 1】「旭川医科大学における一連の不祥事に対して関心を持っているか」について、大いに関心がある 85.3%、どちらかというに関心がある 13.4%であり、全く関心がない 0.3%、どちらかというに関心がない 1.0%でした。

【問 2】「同窓会が今回の一連の不祥事に対してどのように関わっていくべきか」について、大いに関わっていくべきである 65.4%、どちらかというに関わっていくべきである 28.6%であり、全く関わる必要ない 0.8%、どちらかというに関わる必要ない 2.6%、わからない（どちらでもよい、興味がない） 2.6%でした。

【問 3】吉田学長が「Y 病院のコロナウイルス感染クラスターに関する発言が不適切であった」と謝罪会見した上で、「意図的に切り取られた発言であること、そして学内での会議の内容が漏洩されることこそが問題である」とした一連の言動について、全く不適切で

納得できない 73.7%，どちらかという和不適切で納得できない 19.2%，適切で納得する 1.8%，どちらかというと適切で納得する 3.2%，わからない（どちらでもよい，興味がない） 2.1%でした。

【問 4】吉川病院長の解任については，全く不適切な解任である 75.8%，どちらかという和不適切な解任である 15.0%，全く適切な解任である 1.1%，どちらかというと適切な解任である 2.4%，わからない（どちらでもよい，興味がない） 5.8%でした。

【問 5】「吉田学長が滝川市立病院から約 14 年間にわたり医療情報アドバイザー契約を行い 2006 年から月 40 万円，総額 6920 万円を受領していた」件については，全く不適切で納得できない 74.7%，どちらかという和不適切で納得できない 17.4%，適切で納得する 1.8%，どちらかというと適切で納得する 1.3%，わからない（どちらでもよい，興味がない） 4.7%でした。

【問 6】吉田学長の学内における酪酊行為について，吉田学長は（旭川医科大学学長解任規程第 3 条第 1 項に記載されている）職務遂行能力を喪失した心身状態である 69.4%，職務遂行能力をどちらかというと喪失した心身状態である 20.6%，職務遂行に耐える心身状態を充分保持している 0.8%，職務遂行に耐える心身状態をどちらかというと保持している 2.1%，わからない（どちらでもよい，興味がない） 7.1%でした。

【問 7】2017 年に終了した医療情報システムに関する NTT 東日本との裁判に敗訴した件（総額 20 億円を超える賠償支払い）については，責任の所在を明らかとするべきである 77.6%，どちらかというと責任の所在を明らかとするべきである 12.4%，責任の所在は明確としなくても良い 2.4%，どちらかというと責任の所在は明確としなくても良い 0.8%，わからない（どちらでもよい，興味がない） 6.8%でした。

【問 8】「旭川医科大学の正常化を求める会」の活動については，大いに支持する 80.0%，どちらかというと支持する 14.5%，全く支持しない 2.4% どちらかというと支持しない 1.1%，わからない（どちらでもよい，興味がない） 2.1%でした。

【問 9】吉田晃敏学長の進退については，辞任すべきである 88.4%，どちらかというと辞任すべきである 6.9%，吉田晃敏学長は辞任する必要はない 1.9%，吉田晃敏学長はどちらかというと辞任する必要はない 0.0%，わからない（どちらでもよい，興味がない） 2.9% でした。

本アンケートの集計結果は回収率が約 20%といった限界がありますが，いずれの回答も，旭川医科大学医学科第 1 期生である吉田晃敏学長に対して学外の会員からも厳しい評価が下されています。特に問 9 の吉田晃敏学長の進退について伺う質問には 88.4%が辞任すべきである，6.9%がどちらかというと辞任すべきであると回答し，あわせると 95.3%が辞任を望んでいるという結果が得られ，本会会長として誠に遺憾に思っています。

また，問 2 の同窓会が今回の一連の不祥事について，どのように関わっていくべきかという問いについては，「大いに関わっていくべきである」と「どちらかという関わって

いくべきである」をあわせると 94%の本会会員が「関わるべき」と回答しました。本会の目的は会員相互の親睦を図るとともに、旭川医科大学の発展並びに医学の進歩に寄与することです（会則第3条）。本会会長としては、今回のアンケート調査結果をふまえ、吉田晃敏学長には辞任を請求すると共に、母校の名誉と信頼を回復し発展していくよう尽力したいと思っています。

旭川医科大学の一連の不祥事についての本会としての正式な声明は今後、役員会での審議を経たのちに公開する予定です。

**【本件に関する問い合わせ先】**

旭川医科大学医学部医学科同窓会 事務局

〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号

TEL & FAX 0166-68-2234（月水金 9:00～12:00）

Mail [mdosokai@asahikawa-med.ac.jp](mailto:mdosokai@asahikawa-med.ac.jp)